

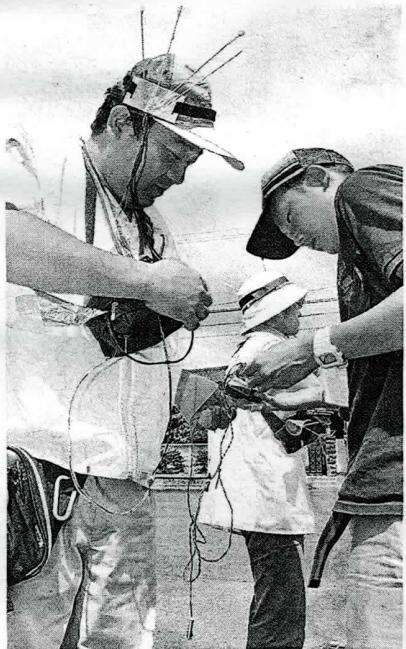
日本一 いまち 暑 体への影響は?

多治見 東工大生ら調査

歩いて皮膚温度変化測る

東京工業大(東京都墨田区)の学生らが二年間で初めて実施。市民有志三千人を、二十代、三十代、四十代、五十代以上の中高年層に分けて、二十六日までデータを収集する。夕を収集する。与える影響を調べる。初日は三十代、朝、昼、晩の一日三回、市内に設置された「打ち水スポット」を経由して歩き、気温や風速、日射量などを測定する。五ルートを歩き、サーモカメラで皮膚温度の変化などを測った。

調査結果は同研究室の仲吉信人さん(これは「暑さと人体の健康変化を同時に測つた研究はまだない。今回データを利用し、熱中症や日射病の前兆を解明できれば、快適な都市づくりにも貢献できるはず」と期待を込めた)によると、九月末までにまとめて、学会で報告する。(植木創太)



対象者の体にセンサーを付け、暑さを検証する
仲吉さん(右)=多治見市立区画整理事務所で
H23年8月16日(火)